

ご意見への回答

令和7年10月24日
図書館長

【件名】

福島県立図書館の選書について

【ご意見】

令和7年10月11日 福島市

図書館に来館すると、いつも最初に「新刊紹介」コーナーをチェックしますが、いつもガッカリします。今、日本・世界は様々な社会問題をかかえ、各国・各分野の有識者が、それぞれが専門とする分野について解説や論評を加え、そうした著書が沢山発刊されています。新聞の書評欄や大型書店の新刊コーナーには、こうした本が毎週入れ替わり案内されていますが、貴図書館には、こうした今、世界・日本をとりまいていて、その社会課題について論考したり、評論する本が一冊たりともありません。並んでいるのは、研究者やよほどの専門性の高い識者しか読まない本ばかりが並んでいます。

【回答】

図書館へのご意見ありがとうございます。

福島県立図書館では『福島県立図書館資料収集基本要綱』に基づき、資料収集調整委員会で資料を選定し、収集しています。資料を選定する上では、新聞の書評欄に掲載された資料を参考にし、購入しているものも多数あります。

一般資料については、社会科学だけでなく、様々な分野の「基礎的、入門的なものから専門的な研究書に至るまで、できる限り幅広く収集」しており、特に、市町村図書館で購入することが難しい専門書や全集などは、市町村図書館からの要望に応えるためにも購入しております。このように、入門的な実用書の多くは市町村図書館で収集し、県立図書館では専門的な研究書や、調べるために役立つ資料、そして様々な視点で書かれた資料を多く収集するなど役割分担することで、県民の皆様へ幅広い内容の資料を提供しています。

なお、新着図書コーナーでは、新聞の書評欄に掲載された資料など話題の資料は貸出となっていることが多いため、比較的専門書が残りやすい傾向があります。お探しの本がありましたら、職員におたずねください。

ご理解のほどよろしくお願いいたします。

(担当 :資料情報サービス部長 電話 024-535-3218)

※ 回答内容は、回答日現在の状況に基づくものです。